



Cubiシリーズ

パソコン

Cubi NUC AI+ 3MG
(Cubi B211)

ユーザーズガイド

目次

ご使用の手引き.....	3
パッケージの内容.....	3
安全と安心に関するヒント.....	3
システムの外形寸法.....	4
システムの概要.....	5
ハードウェアの設定.....	9
システムの設置.....	12
メインボードのコンポーネント.....	13
Windows 11システムの操作方法.....	18
電源管理.....	18
ネットワーク接続.....	22
システムの復元.....	30
F3ホットキー回復(オプション).....	32
安全に関する注意事項.....	33
規格について.....	35

改訂

V1.0, 2026/02

ご使用の手引き

本章ではハードウェアのセットアップ手順について説明します。機器の接続時には、機器の持ち運びに十分注意し、静電気防止用に接地されたリストストラップを使用してください。

パッケージの内容

パソコン	Cubi B211
ドキュメンテーション	クイックスタートガイド (オプション)
	ユーザズガイド (オプション)
	保証書 (オプション)
付属品	電源コード
	ACアダプタ
	電源ボタンスイッチケーブル (オプション)
	ケーブルホルダー
	VESAプレート (オプション)
	VESA取り付けネジ (オプション)
	マウス (オプション)
キーボード (オプション)	



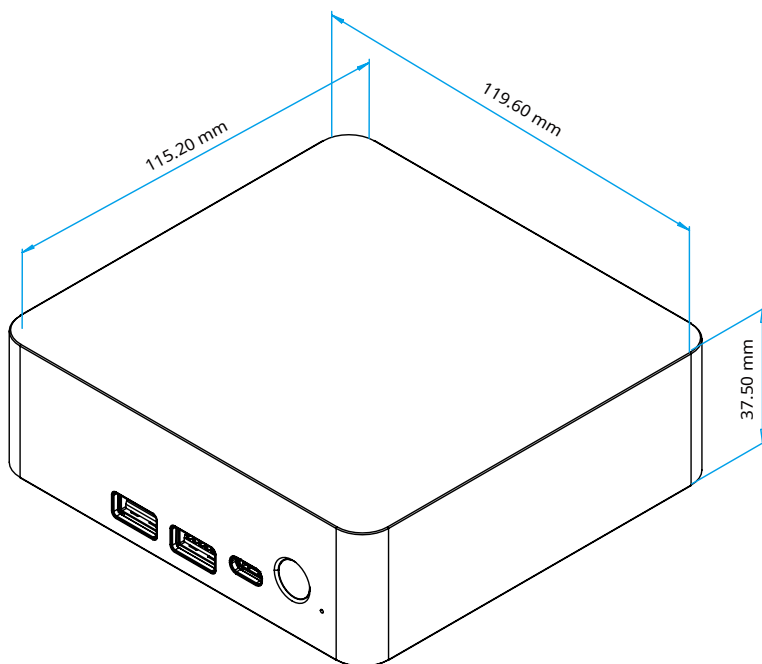
注意

- アイテムのいずれかが破損しているか不足している場合は、購入先または現地販売店にお問い合わせください。
- パッケージの内容は国やモデルによって異なる場合があります。
- この製品に付属している電源コードは、同梱のパソコン本体専用です。同梱のパソコン本体以外の他の製品には使用しないでください。

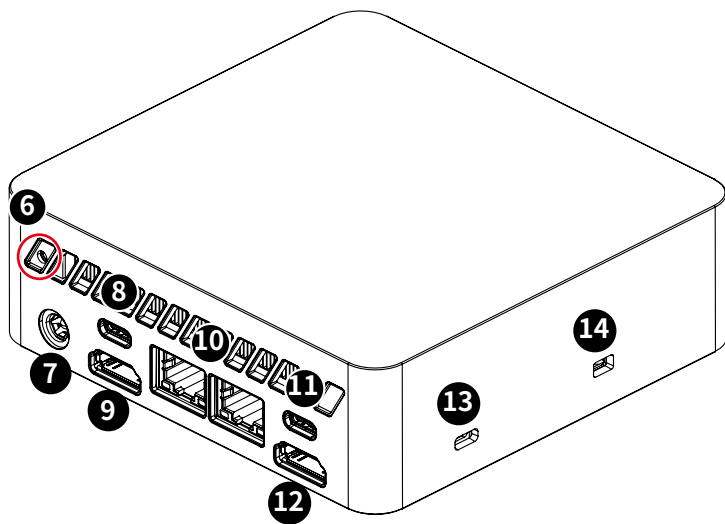
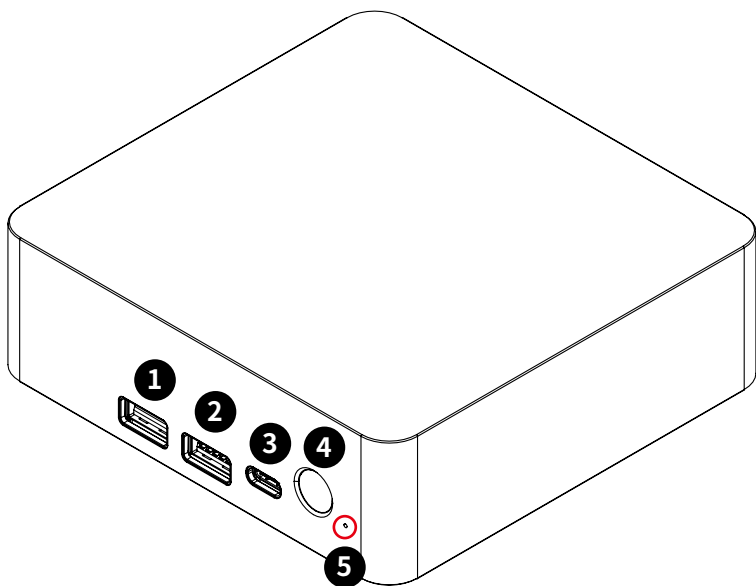
安全と安心に関するヒント


- 本製品を安全にお取り扱いいただくために、適切な作業環境を整えていただき細心の注意をもって製品をご使用ください。
- 本製品のお取り扱い、作業につきましては十分に照明がとられた明るい場所で行ってください。
- お客様の作業に適したデスクやイスをお選びいただき、操作がしやすい様な環境でご使用ください。
- イスに座り作業をされる場合は、イスの背もたれなどを調整していただき、無理のない姿勢でご使用ください。
- 本製品を不安定な場所や、使用しにくい場所などでご使用にならないでください。
- 本機は精密機器です。ご使用中に怪我などをされない様に、お取り扱いには十分にご注意ください。

システムの外形寸法



システムの概要



<p>1</p>	<p>USB 2.0ポート USB周辺機器接続用の端子です。(最大速度480 Mbps)</p> <p> 注意 高速デバイスはUSB 5Gbpsポート以上に接続し、マウスやキーボードなどの低速デバイスはUSB 2.0ポートに接続します。</p>
<p>2</p>	<p>USB 10Gbps Type Aポート USB周辺機器接続用の端子です。</p>
<p>3</p>	<p>USB 10Gbps Type-Cポート USB周辺機器接続用の端子です。最大5V/3Aの電源供給をサポートします。</p>
<p>4</p>	<p>電源ボタン & 指紋センサー 電源ボタンを押すと、システムをオン/オフすることができます。 指紋センサーによってデバイスのロックを解除したり、本人確認を行ったりできます。</p>
<p>5</p>	<p>電源LED システムの電源がオンになると電源LEDが輝き、システムがシャットダウンされると消えます。節電のため、LEDはモダンスタンバイ(S0 Low Power Idle)モードまたはS3(Suspend to RAM)モードで点滅し、S4(Suspend to Disk)モードで消えます。</p>
<p>6</p>	<p>ケーブルホルダー 手回しねじ式のケーブルホルダーは、電源ケーブルをしっかりと固定し、抜け落ちを防ぎます。</p>
<p>7</p>	<p>電源ジャック このジャックを通して供給される電力は、PCに電力を供給します。</p>
<p>8</p>	<p>Thunderbolt™ 4ポート (USB Type-C®)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Thunderbolt™デバイスで最大40Gbpsの転送レートに対応します。 • USB 20Gbpsデバイスで最大20Gbpsの転送レートに対応します。 • USB 10Gbpsデバイスで最大10Gbpsの転送レートに対応します。 • 最大5 V/3 A (15 W) の電源出力に対応します。 • 最大98W DC (20V/4.9A) のUSB-PDシンクに対応します。 • 各ポートは最大3 Thunderbolt™ 4デバイスまたは5 Thunderbolt™ 3デバイスのデイジーチェーンに対応します。 • 最大8Kの画面出力に対応します。

9

HDMI™コネクター **HDMI™** HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- HDMI™ 2.1で指定の4K@60Hzに対応します。
- MSI Power Linkは電源オン/オフに対応し、選択したMSIモニターの電源ボタンで互換性のあるコンピューターを制御できます。詳細な情報については<https://msi.gm/MSI-Power-Link>からご参照ください。



注意

- グラフィックスの仕様は使用するCPUによって異なることがあります。
- 最適なパフォーマンスと互換性を確保するために、このモニターを接続する際には、HDMI™公式ロゴマーク付きのHDMI™ケーブルのみを使用してください。詳細な情報については<https://www.hdmi.org/resource/cables>からご参照ください。

10

2.5 Gbps LANジャック

LANへの接続用に標準のRJ-45 LANジャックが付属しています。このジャックにネットワークケーブルを接続できます。

LED	状態	説明
 リンク/アクティビティLED	Off	リンクしていません
	黄色	リンクしています
	点滅	データ通信中です
スピードLED	Off	10 Mbps
	緑色	100/1000 Mbps
	オレンジ	2.5 Gbps

11

Thunderbolt™ 4ポート (USB Type-C®)

- Thunderbolt™デバイスで最大40Gbpsの転送レートに対応します。
- USB 20Gbpsデバイスで最大20Gbpsの転送レートに対応します。
- USB 10Gbpsデバイスで最大10Gbpsの転送レートに対応します。
- 最大5V/3A、15Wの電源出力に対応します。
- 各ポートは最大3 Thunderbolt™ 4デバイスまたは5 Thunderbolt™ 3デバイスのデジタイゼーションに対応します。
- 最大8Kの画面出力に対応します。

12

HDMI™コネクター **HDMI™** HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMI™ 2.1で指定の4K@60Hzに対応します。



注意

- グラフィックスの仕様は使用するCPUによって異なることがあります。
- 最適なパフォーマンスと互換性を確保するために、このモニターを接続する際には、HDMI™公式ロゴマーク付きのHDMI™ケーブルのみを使用してください。詳細な情報については<https://www.hdmi.org/resource/cables>からご参照ください。

13	Kensingtonロックポート 本製品はKensingtonロックポートを搭載しています。ゴムで処理された金属ケーブルでPCを固定位置に括り付けるか、キーあるいは機械的なPINデバイスでユーザーのPCの安全を確保します。ケーブルの末端には小さな輪があり、ケーブル全体を固定の物体に巻きます。重いテーブル、または他の同様の設備にPCを固定位置に括り付けています。
14	電源ボタンスイッチケーブルコネクタ (オプション) 電源ボタンスイッチケーブルで、ユーザーは簡単にデバイスを電源オン/オフします。コネクタからカバーを取り外し、電源ボタンスイッチケーブルをこのコネクタに接続します。

ハードウェアの設定

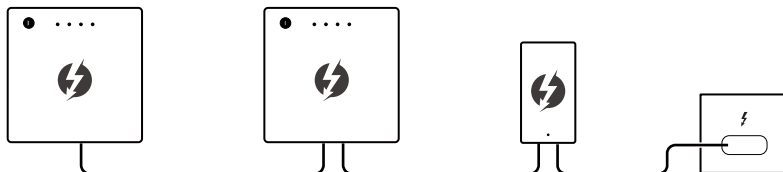
周辺機器を対応する端子に接続してください



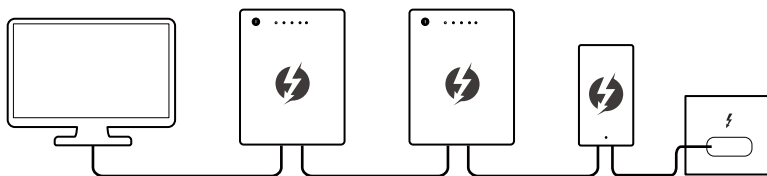
- 接続方法の詳細は、周辺機器のマニュアルを参照してください。
- 図は参考用です。コンピュータは、ご購入したモデルによって異なる場合があります。

デジチェーンでThunderboltデバイスの接続 (オプション)

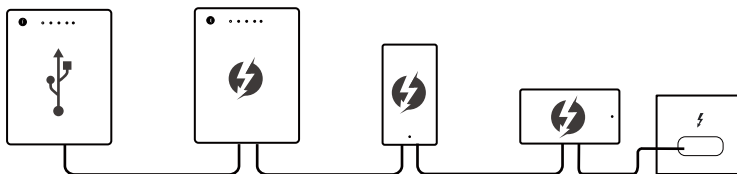
デジチェーンは1つの出力端子で複数のデバイスをPCに接続します。デジチェーンは複数のThunderboltデバイスをIOパネルのThunderboltポートに接続することができます。



IOパネルにはモニターのデジチェーンにも対応します。モニターをチェーンの末端に接続する必要があります。

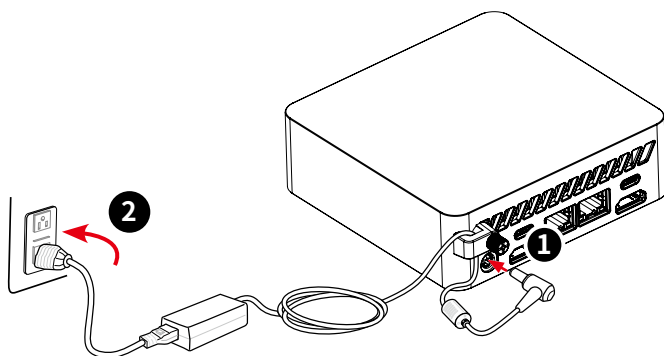


USBデバイスを接続する場合、チェーンの末端に接続してください。



電源コードをシステムとコンセントに接続します

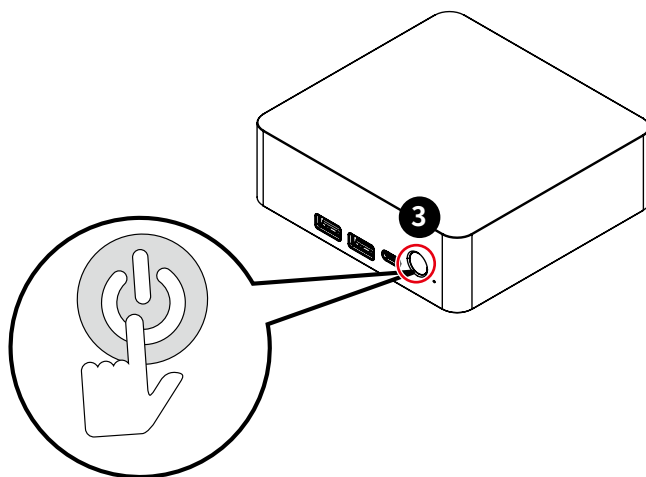
- ACアダプタ: 120W, 19.5V
 - 入力: 電圧100~240, 周波数50/60 Hz
 - 出力: 電圧19.5V \equiv 電流6.15A



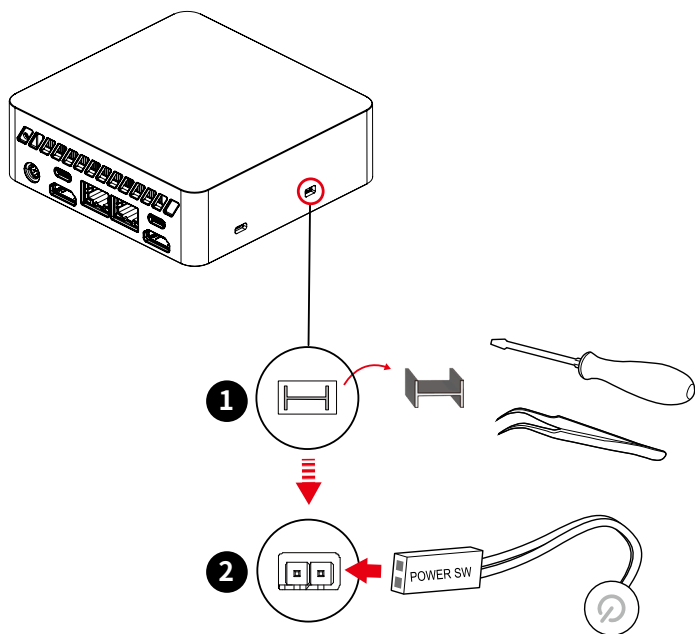
注意

AC電源コードを取り外す場合は、電源コードのコネクター部分を持つようにしてください。絶対にコードを直接引っ張らないでください。

電源ボタンを押すと、システムが起動されます

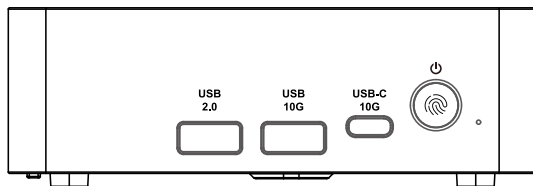
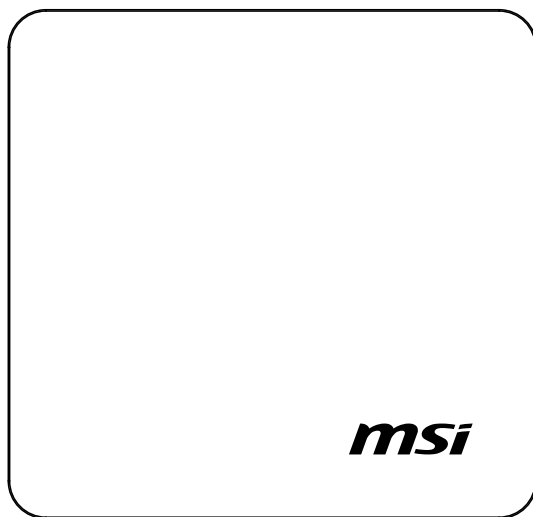


電源ボタンスイッチケーブルを接続します (オプション)

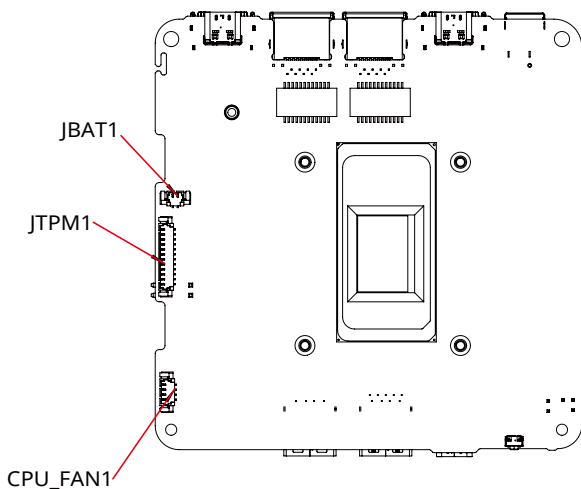
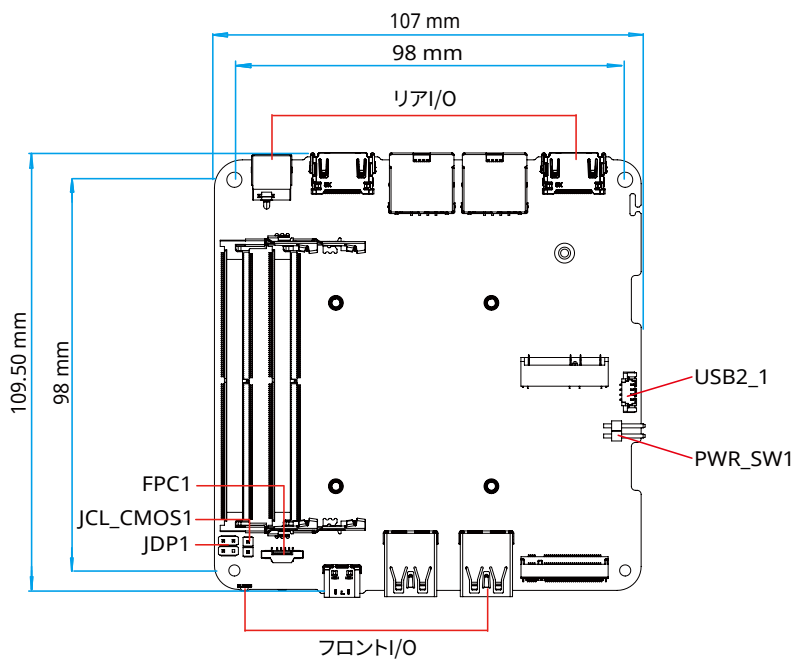


システムの設置

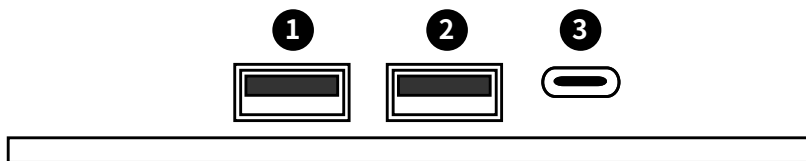
システムを水平に設置するか、または壁に取り付けることができます。



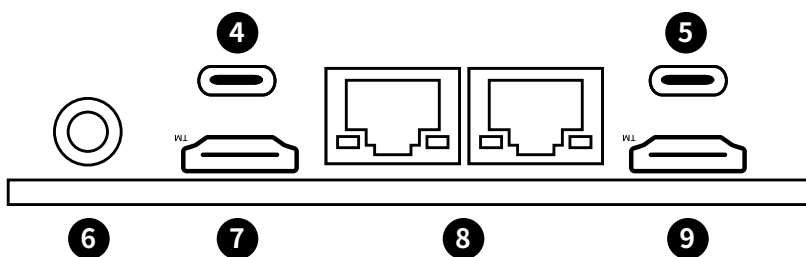
メインボードのコンポーネント



フロントI/Oコネクター



リアI/Oコネクター



1. USB 2.0 Type-Aポート
2. USB 10Gbps Type-Aポート
3. USB 10Gbps Type-Cポート
4. Thunderbolt™ 4 USB-Cポート
5. Thunderbolt™ 4 USB-Cポート

6. 電源ジャック
7. HDMI™コネクター **HDMI™**
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE
8. 2.5 Gbps LANジャック
9. HDMI™コネクター **HDMI™**
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

内部ヘッダー & コネクタ

JDP1: デバッグヘッダー



ピン	信号	ピン	信号
1	SIO_DEBUG	3	GND
2	VCC5	4	NC

JCL_CMOS1: クリアCMOSジャンパー



ピン	信号	ピン	信号
1	GND	2	RTCRST#

FPC1: 指紋ヘッダー



ピン	信号	ピン	信号
1	NA	5	SBD7+
2	NA	6	SBD7-
3	NA	7	3VA
4	GND	8	3VA

PWR_SW1: 電源スイッチヘッダー



ピン	信号	ピン	信号
1	PWRBTIN#	2	GND

BIOSをデフォルト値にリセットする

1. PCの電源をオフにし、コンセントから電源コードを抜いて下さい。
2. ジャンパーブロックでJCL_CMOS1を5-10秒ぐらいショットします。
3. JCL_CMOS1からジャンパーブロックを取り外します。
4. 電源コードをコンセントに元通りに接続し、電源を投入します。

USB2_1: USB 2.0ヘッダー



ピン	信号	ピン	信号
1	SVCC3	3	USB6P
2	USBN6	4	GND

JBAT1: バッテリコネクター



ピン	信号	ピン	信号
1	BAT2(3V)	3	GND
2	GND	4	GND

JTPM1: TPMモジュールコネクター



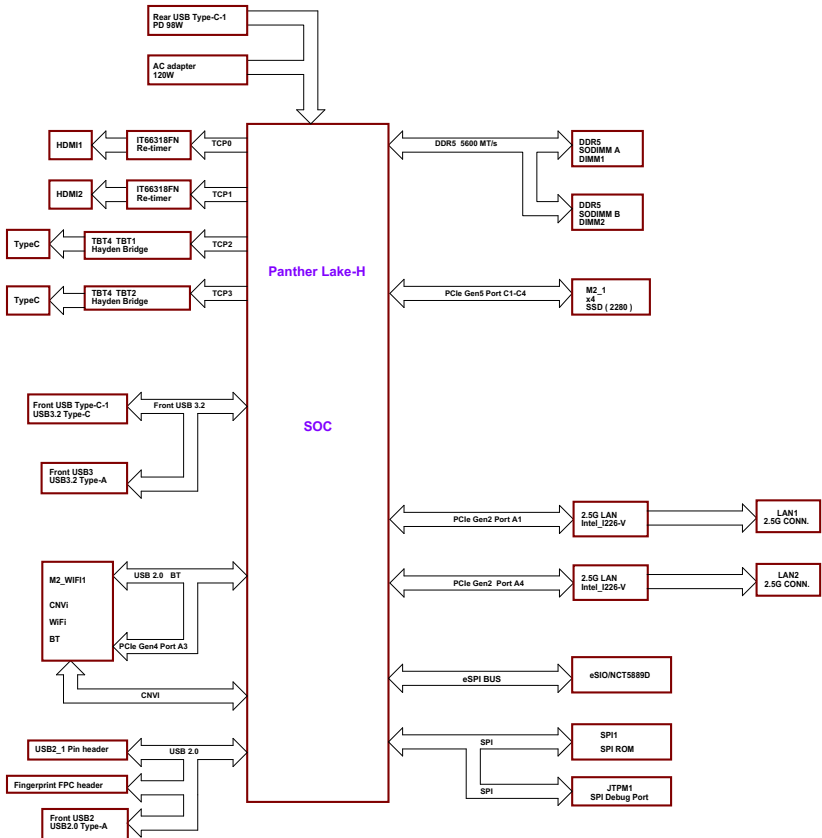
ピン	信号	ピン	信号
1	1.8V_SUS	7	GND
2	TPM_SPI_CS2#	8	PLTRST_TPM#_1V8
3	PCH_SPI_MISO_TPM	9	SPI_SW_SEL
4	PCH_SPI_MOSI_TPM	10	NA
5	SSPI_CS0#	11	PCH_SPI_IO2_TPM
6	PCH_SPI_CLK_TPM	12	TPM_SPI_PIRQ#

CPU_FAN1: CPU FANコネクター



ピン	信号	ピン	信号
1	GND	3	SIO_CPU_FANTAC
2	VCC5	4	SIO_CPU_FAN_R

ブロック図



Windows 11システムの操作方法



注意

すべての情報とWindowsスクリーンショットは予告なしに変更される場合があります。

電源管理

本製品は、本製品とモニターの電源管理を行うことにより、大幅に電気使用量を節約し、環境に配慮する事が出来ます。

本製品を効率的に使用するために、一定時間使用されない場合に本製品がスリープモードになる様に設定をしましょう。

1. [Start](スタート)を右クリックしてメニューを開き、[Power Options](電源オプション)をクリックします。
2. [Screen and sleep](画面とスリープ)設定を調整し、リストから電源モードを選択します。
3. 検索ボックスに「コントロールパネル」と入力、[Control Panel](コントロールパネル)をクリックし、電源プランを選択またはカスタマイズします。
4. [All Control Panel Items](すべてのコントロールパネル項目)ウィンドウを開きます。[View by](表示方法)ドロップダウンメニューの[Large icons](大きいアイコン)を選択します。
5. [Power Options](電源オプション)を選択します。
6. 電源プランを選択し、[Change plan settings](プラン設定の変更)をクリックすると初期値の設定からカスタマイズすることができます。
7. (Create a power plan)(電源プランを作成する)を選択し、電源プランを最初から作成します。
8. 既存のプランを選択して名前を付けます。
9. 新しい電源プランのために調整を行います。
10. [Shut down or sign out](シャットダウンまたはサインアウト)メニューに、システム電源の迅速かつ容易な管理のための省電力のオプションが表示されます。

節電

ユーザーが一定の時間、本製品を使用しない状態であった場合、電源管理の機能が低電力モードまたはスリープモードに移行します。電力消費量節約の為に、本製品のシステムがAC電源で動作しているとき、電源管理機能はあらかじめ以下の設定で動作いたします。

- 10分後ディスプレイの電源をオフにします。
- 15分後スリープモードに入ります。

システムの復帰

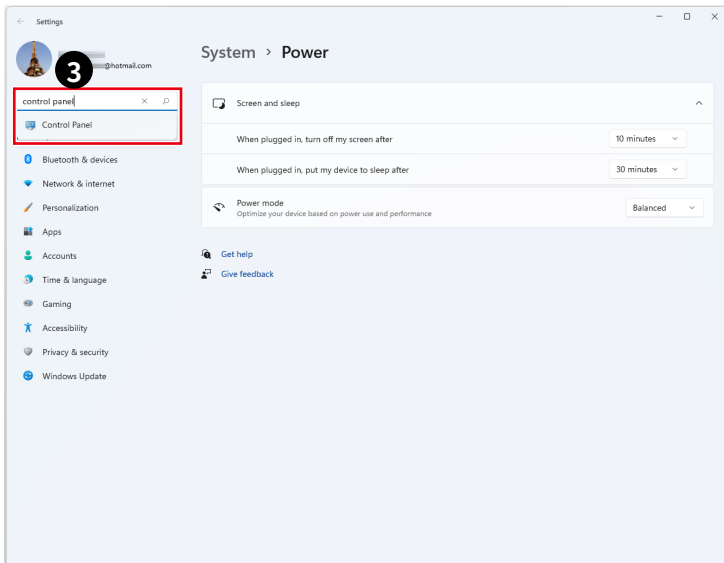
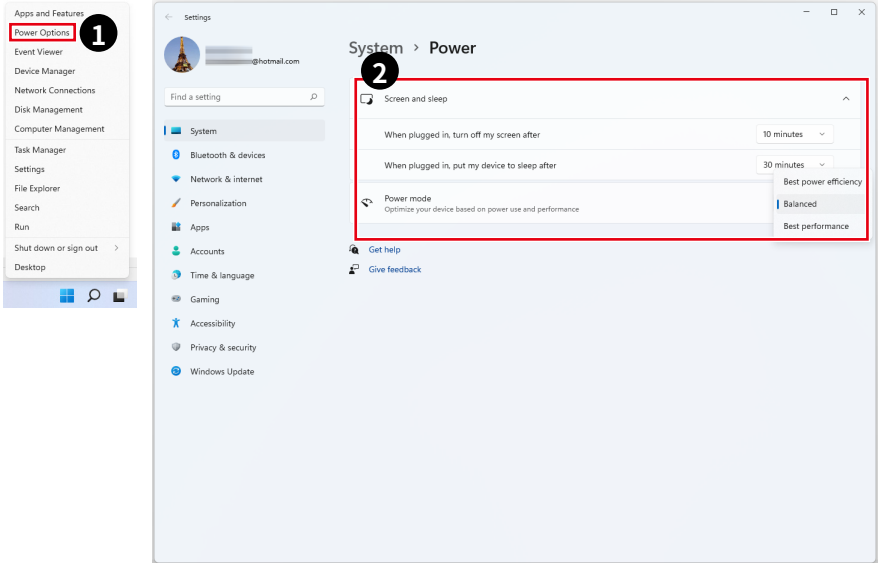
次のいずれかを使用して、節電モードからコンピュータを復帰させることができます。

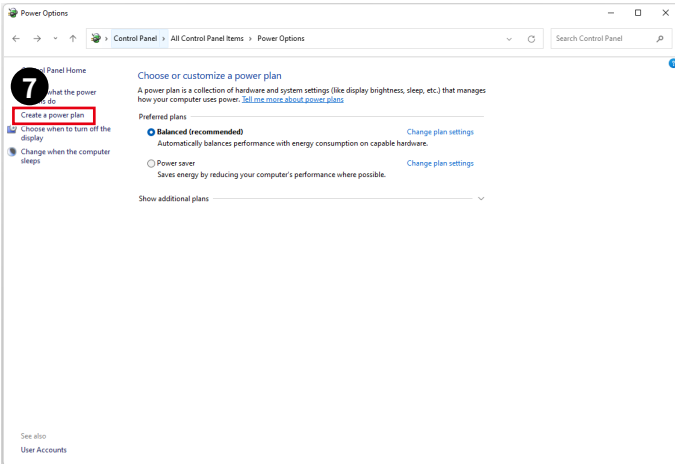
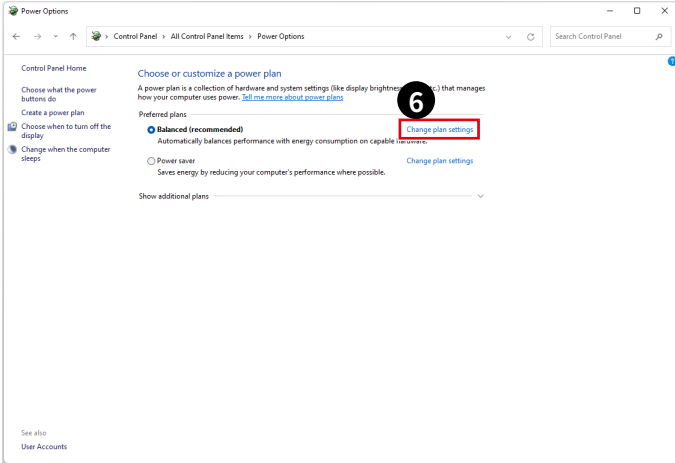
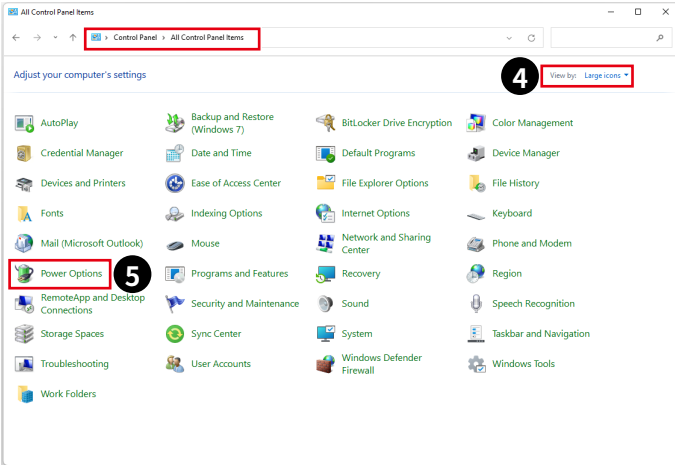
- 電源ボタン
- ネットワーク (Wake On LAN)
- マウス
- キーボード

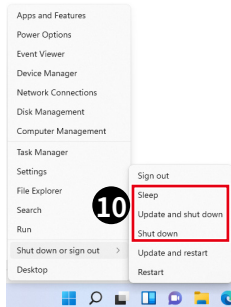
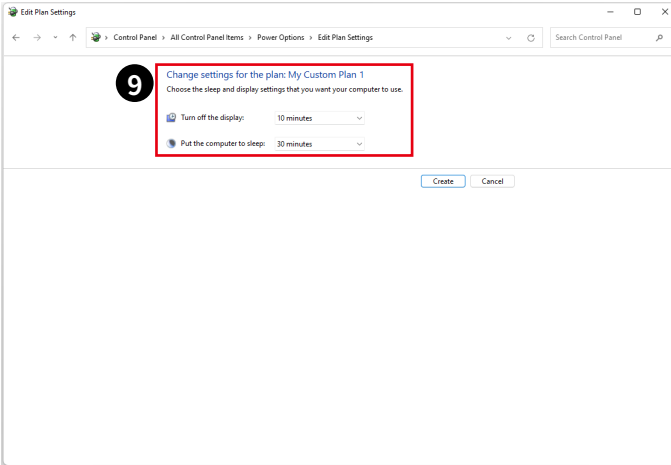
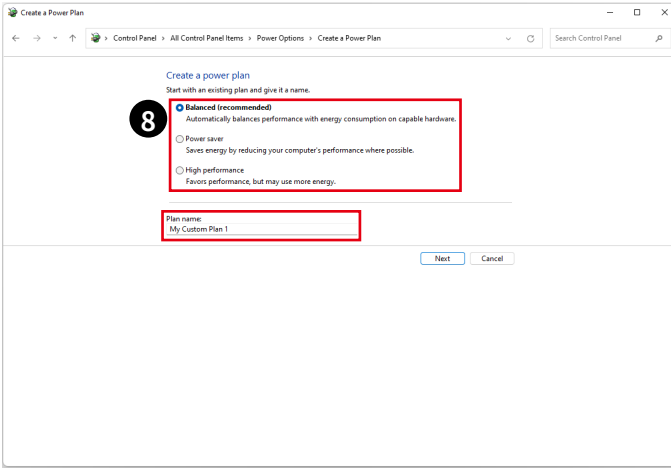


節電に関するヒント:

- 一定時間使用しない場合、LCD電源ボタンを押してモニターの電源をオフにします。
- Windows OSの電源オプションを設定して、パソコンの電源管理を最適化します。
- パソコンの電力消費を管理するソフトウェアをインストールします。
- PCを長期にわたり使用しない場合、不要な電力消費を防ぐため、必ずAC電源コードを抜くか、壁面スイッチをオフにしてください。



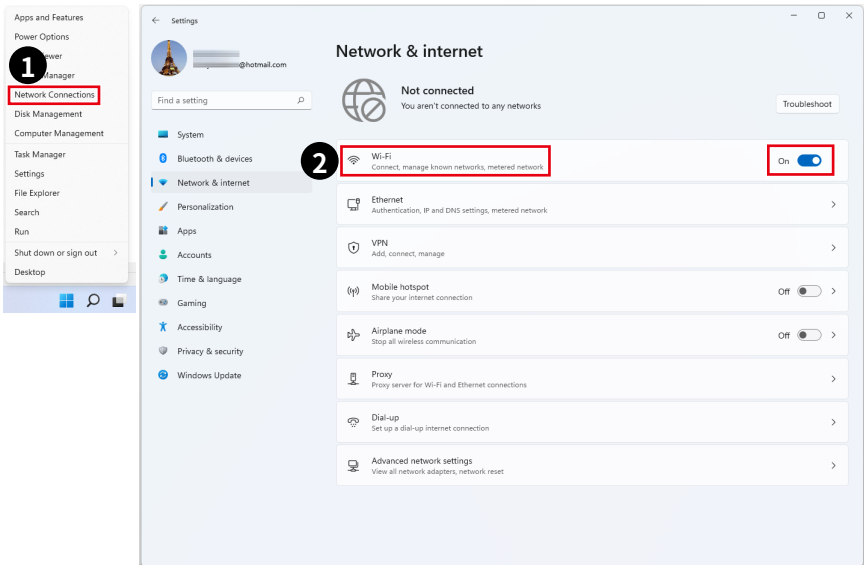


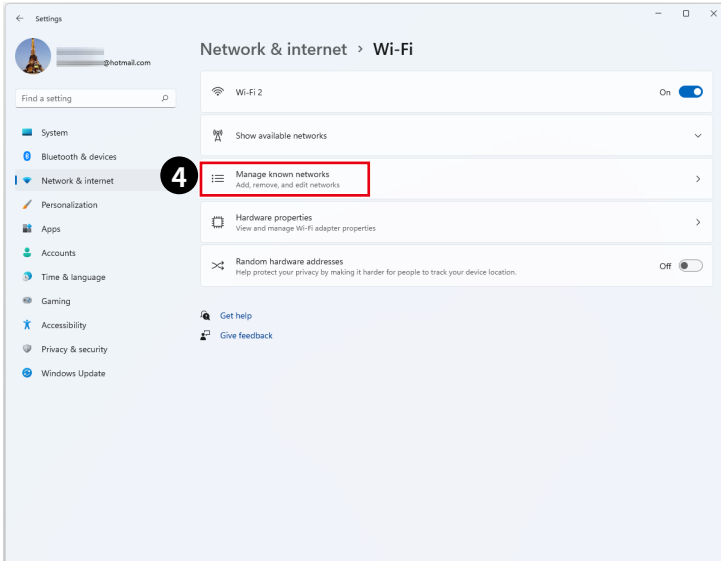
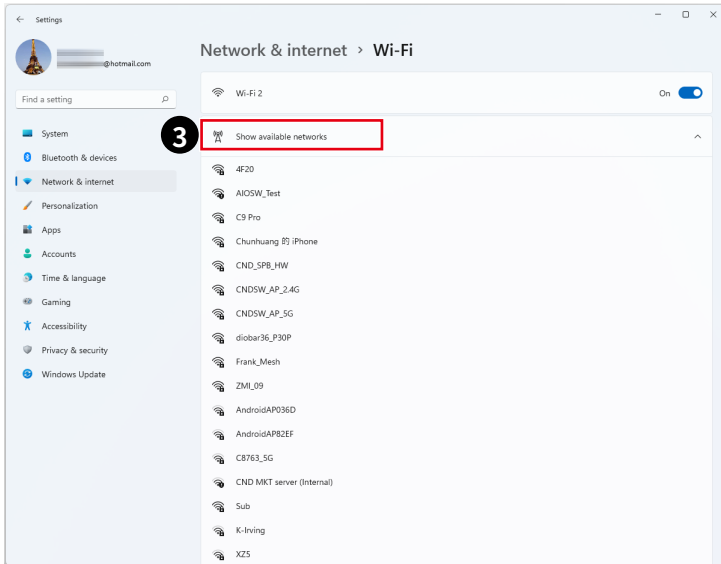


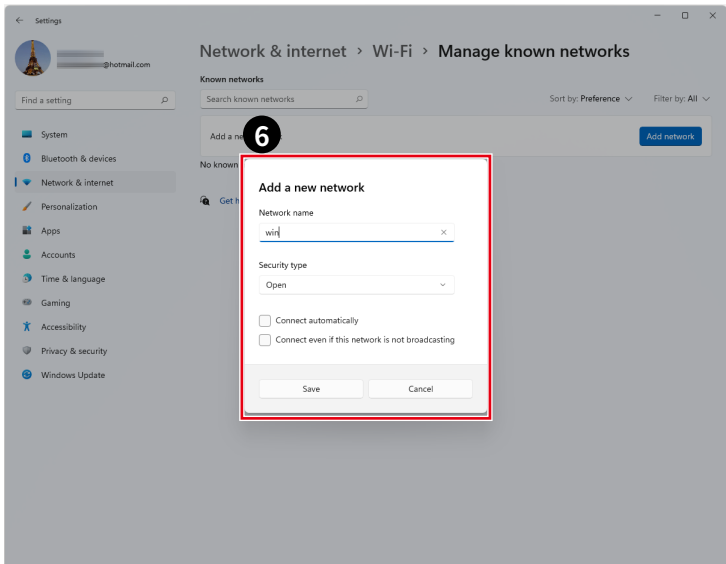
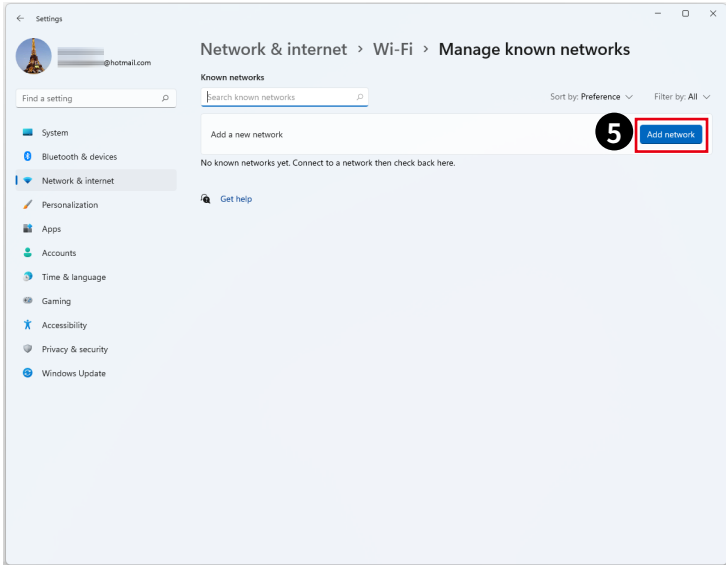
ネットワーク接続

Wi-Fi

1. 画面左下の[Start](スタート)を右クリックしてメニューを開き、[NetworkConnections](ネットワーク接続)をクリックします。
2. [Wi-Fi]を選択してオンにします。
3. [Show available networks](利用可能なネットワークを表示する)をクリックします。利用可能なネットワークのリストから、接続するネットワークを選択します。
4. [Manage known networks](既知のネットワークの管理)を選択し、新しい接続を確立しします。
5. [Add network](ネットワークの追加)をクリックします。
6. 追加したい無線ネットワークの情報を入力して、[Save](保存)をクリックして新しい接続を確立します。

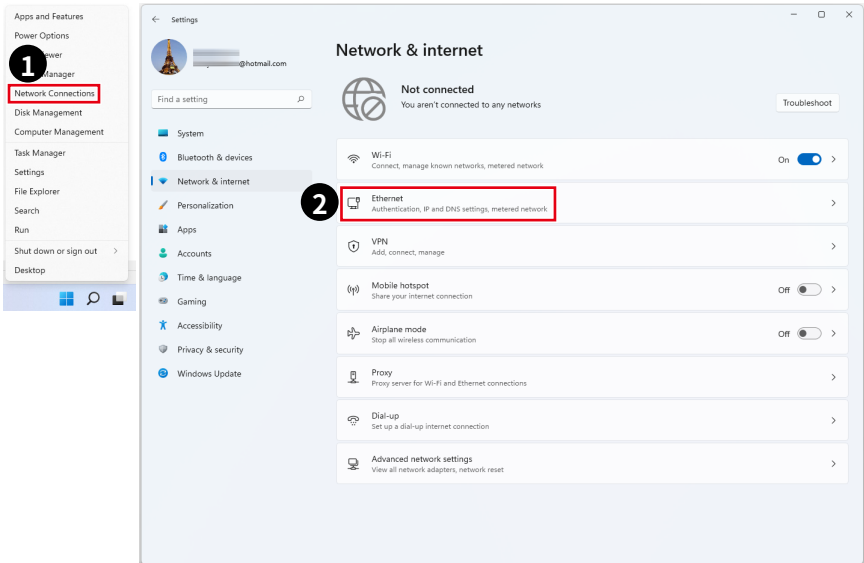


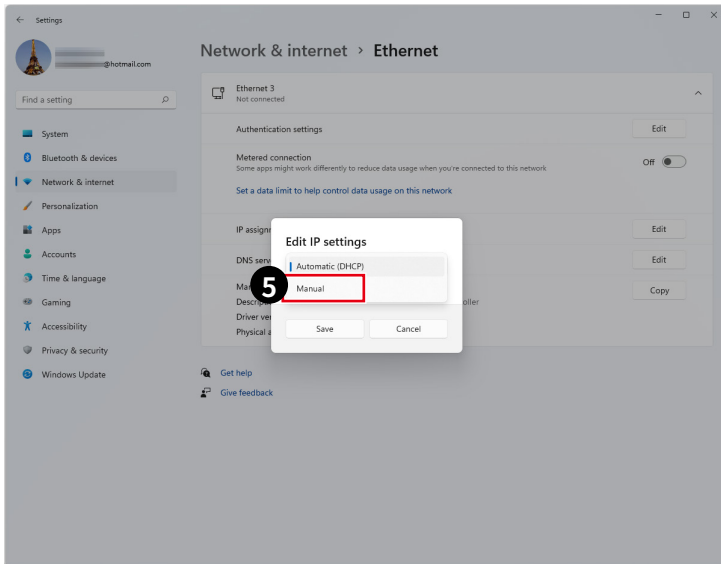
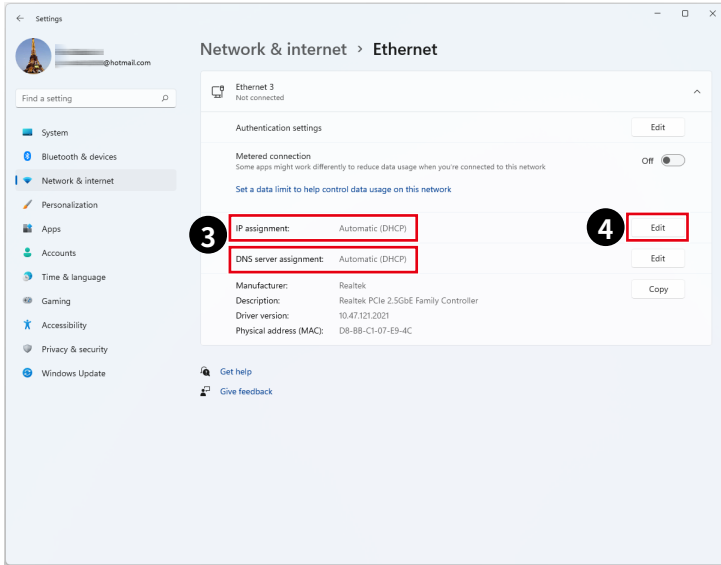


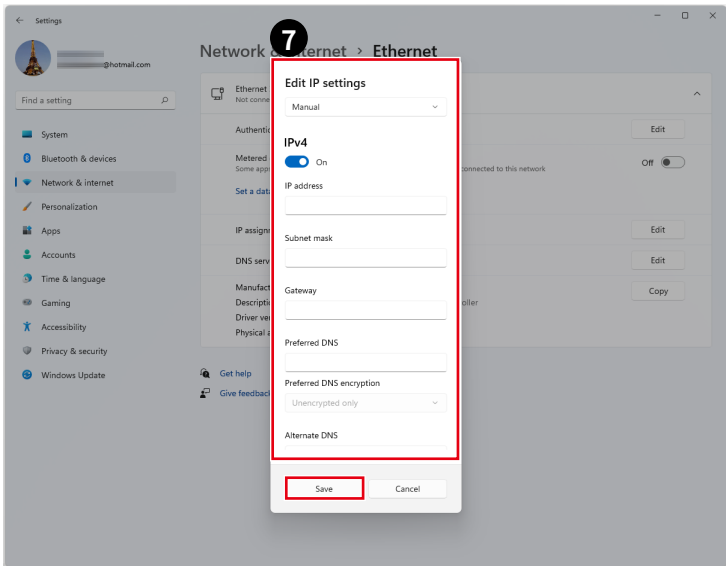
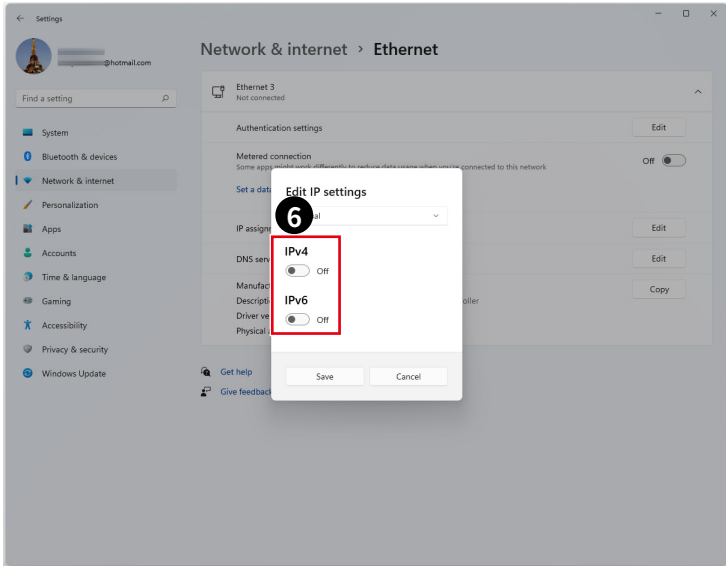


イーサネット

1. 画面左下の[Start](スタート)を右クリックしてメニューを開き、[NetworkConnections](ネットワーク接続)をクリックします。
2. [Ethernet](イーサネット)を選択します。
3. [IP assignment](IP割り当て)と[DNS server assignment](DNSサーバーの割り当て)は自動的に[Automatic (DHCP)](自動 (DHCP))と設定されます。
4. [IP assignment](IP割り当て)の[Edit](編集)をクリックして、静的IPインターネット接続を設定します。
5. [Manual](手動)をクリックします。
6. [IPv4]または[IPv6]をオンに切り替えます。
7. お客様が契約されているインターネットサービスプロバイダからの情報を入力し、[Save](保存)をクリックして静的IPインターネット接続を確立してください。

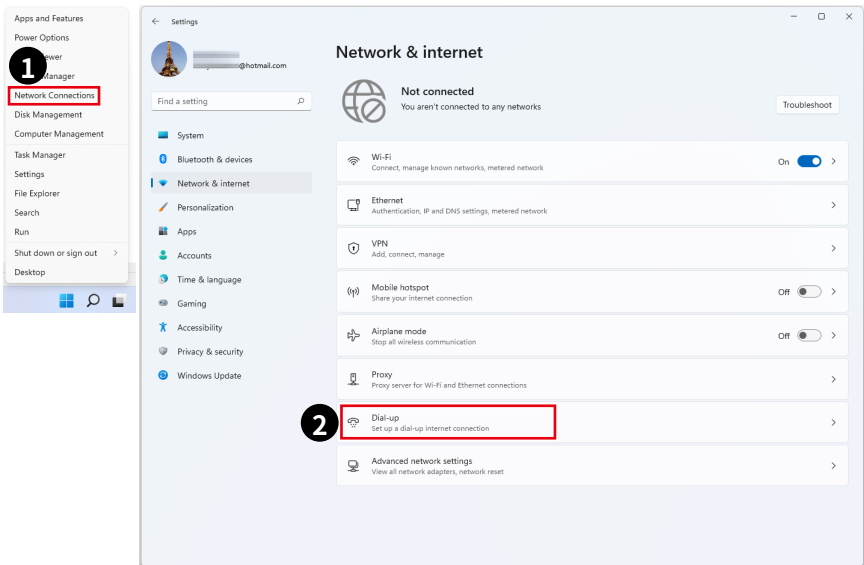


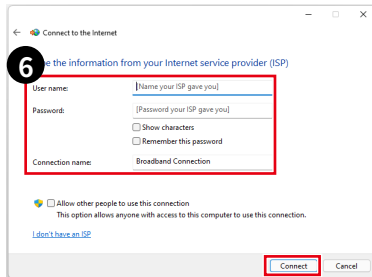
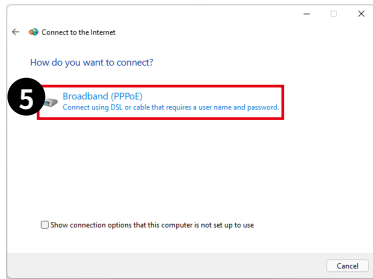
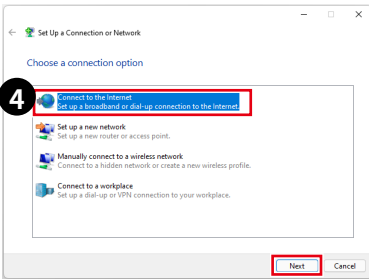
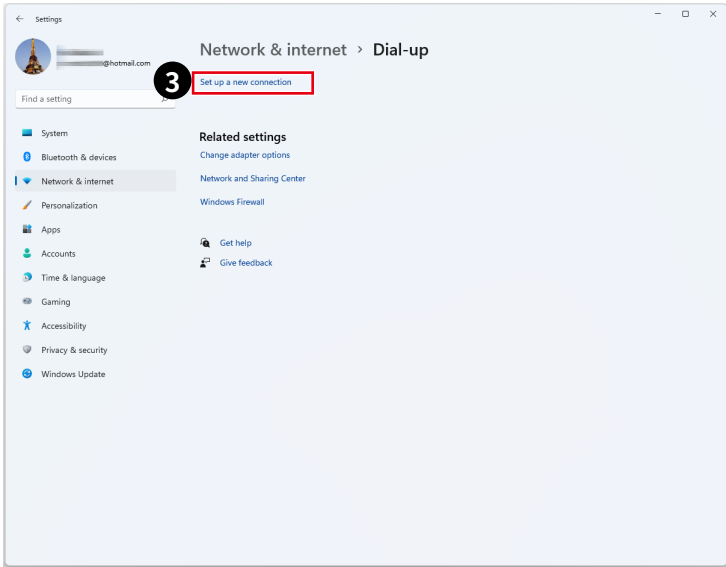




ダイヤルアップ

1. 画面左下の[Start](スタート)を右クリックしてメニューを開き、[NetworkConnections](ネットワーク接続)をクリックします。
2. [Dial-up](ダイヤルアップ)を選択します。
3. [Set up a new connection](新しい接続のセットアップ)を選択します。
4. [Connect to the Internet](インターネットに接続します)を選択し、[Next](次へ)をクリックします。
5. ユーザー名とパスワードが必要なネットワークに接続する為に[Broadband (PPPoE)](ブロードバンド(PPPoE))を選択します。
6. お客様が契約されているインターネットサービスプロバイダ(ISP)からの情報を入力し、[Connect](接続)をクリックしてLAN接続を確立してください。





システムの復元

システムの復元機能を使用する目的には、以下が含まれます。

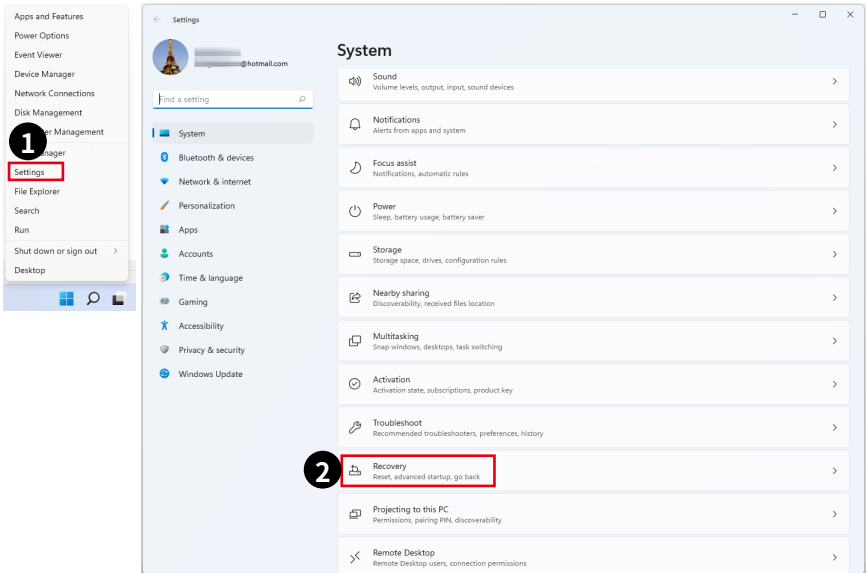
- システムをメーカー出荷時の初期状態に復元する場合。
- 使用中のオペレーティングシステムにエラーが発生した場合。
- オペレーティングシステムがウィルスの影響を受け、正常に機能しなくなった場合。
- 他の言語で OS をインストールし直す場合。

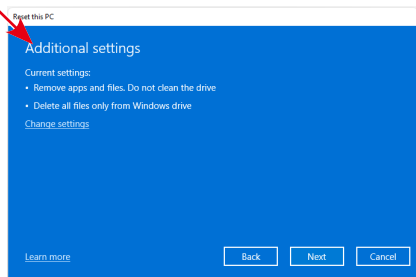
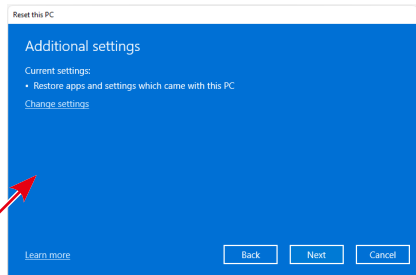
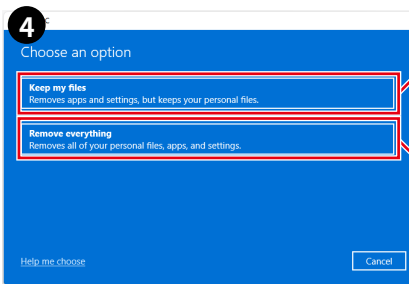
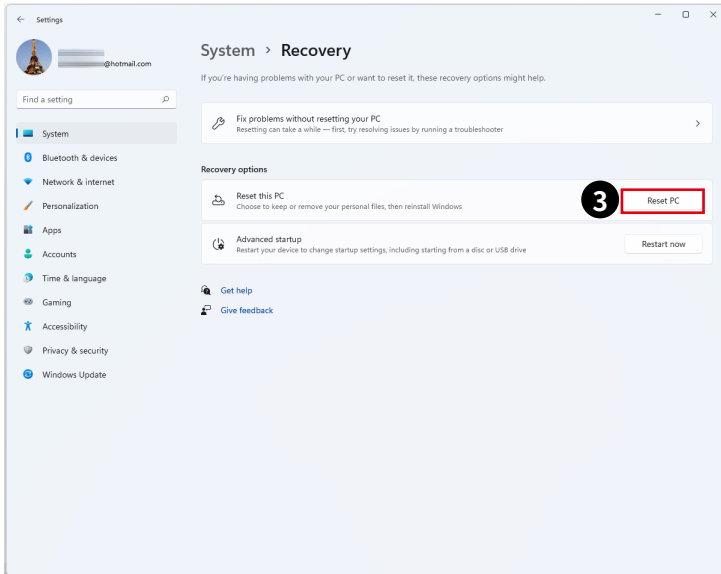
システムの復元機能を使用する前に、システムに保存された重要なデータを他の記憶媒体にバックアップしてください。

本書に記載された手順でシステムの復元ができない場合は、お住まいの地域の正規代理店またはサービスセンターにご相談ください。

PCを初期状態に戻す

1. [Start](スタート)を右クリックしてメニューを開き、[Settings](設定)をクリックします。
2. [System](システム)内の[Recovery](回復)を選択します。
3. [Reset PC](PCを初期状態に戻す)をクリックしてシステムを初期化します。
4. [Choose an option](オプションを選択してください)の画面が表示されます。[Keep my files](個人用ファイルを保持する)または[Remove everything](すべて削除する)を選択し、画面に表示された指示に従ってリカバリーを完了させてください。





F3ホットキー回復(オプション)

システム回復機能を使用する際の注意事項

1. ハードドライブとシステムに回復不能な問題が発生した場合、まずハードドライブからF3ホットキー回復を使用してシステム回復機能を実行してください。
2. システム回復機能を使用する前に、システムドライブに保存された重要なデータを他のストレージデバイスにバックアップしてください。

F3ホットキーでシステムを回復

以下の手順に従って続行します。

1. PCを再起動します。
2. MSIの挨拶がディスプレイに表示されたら、キーボードのF3ホットキーをすぐ押してください。
3. [Choose an Option(オプションを選択する)]画面で、[Troubleshoot(問題を解決する)]をタップしてください。
4. [Troubleshoot(問題を解決する)]画面で、[Restore MSI factory (MSI工場出荷時設定に戻す)]をタップし、システムを初期設定に戻してください。
5. [RECOVERY SYSTEM(システムを復元する)]画面で、[System Partition Recovery(システムパーティションの復元)]をタップしてください。
6. 画面に表示された指示に従い、リカバリー機能を継続し、完了させてください。

安全に関する注意事項

- 安全に関する注意事項をよくお読みください。
- 機器に貼付されているすべての注意と警告またはユーザーガイドを遵守します。
- 資格のある人にもみサービスを依頼してください。

電源

- 機器をコンセントに接続する前に、電圧が安全範囲であること、また100～240Vの電圧範囲に正しく調整されていることを確認してください。
- 電源コードが3ピンプラグの場合、アースピンも接続してください。本機器は接地された電源コンセントに接続する必要があります。
- 設置場所の配電システムが下記の仕様であることを確認してください。
 - 定格120 / 240V、20A (最大) のサーキットブレーカー
- 機器に拡張ボード等の部品を取り付ける際は、作業前に必ず電源コードを抜いてください。
- 機器を長期間使用しない場合は、不要な電力を消費させないようにコンセントからプラグを抜いてください。
- 人に踏まれるような場所には設置しない。電源コードの上に物を置かないでください。
- アダプターが付属している場合、MSI純正以外のACアダプタは使用しないでください。

バッテリー

バッテリーが付属している場合、特にご注意ください。

- 間違ったバッテリーに交換すると、爆発の可能性があります。同じまたは同等のタイプのバッテリーのみ交換してください。
- バッテリーを火中に投下したり、火気に近づけたり、加熱（電子レンジ等）したり、分解・改造したりすると発熱、発火、破裂することがあります。
- バッテリーを非常に高温または低温な場所で使用または充電すると液もれや発熱、性能や寿命が低下することがあります。
- バッテリーを飲み込まないでください。コイン/ボタン電池を飲み込むと、重大な内部火傷を引き起こし、死亡につながる可能性があります。新しいバッテリーまたは使用済バッテリーをお子様の手の届かないところに保管してください。

欧州連合:



バッテリー、バッテリーパックおよび蓄電池は、分類されていない家庭廃棄物として捨てられるべきではありません。公共の収集システムを使用して回復し、リサイクルし、または当地の規則に従って処理します。

BSMI:



廃電池請回収

より良い環境保護のために、再生利用または特別の処理するように、廃物のバッテリーは別々に収集されるべきです。

カルフォルニア・USA:



ボタンセルバッテリーは過塩素酸塩を含む恐れがあるので、カルフォルニアで再生利用または特別の処理するには特別に取り扱ってください。

詳細については、以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://dtsc.ca.gov/perchlorate/>

環境

- 本機器の通気口は通風および過熱から機器を保護するために使用されます。通気口を塞がないでください。
- 本機器を不安定な場所や柔らかい物の上に設置しないでください。
- 火災や感電の危険を避けるため、本機器を湿度や高温に近づけないでください。
- 本機器を保管温度60°Cを超える、または、0°Cを下回る無調整環境に放置しないでください。機器が損傷する恐れがあります。
- 最大動作温度は約35°Cです。
- 機器を清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。機器を清掃するには、工業用化学物質ではなく柔らかい布を使用してください。液体を開口部に注ぎ込むと機器が破損したり感電することがあるため、開口部から液体を注ぎ込まないでください。
- 強い磁気を持つものまたは電気的なものを必ず機器から遠ざけてください。
- 次のような場合は、サービス担当者に機器の点検を依頼してください。
 - 電源コードまたはプラグが破損した場合。
 - 機器内に液体が入った場合。
 - 機器が湿気にさらされた場合。
 - ユーザーガイドに従って操作しても、機器が正常に作動しない、または起動しない場合。
 - 機器が落ちて破損した場合。
 - 機器に目に見える破損がある場合。

ENERGY STAR® 声明

ENERGY STAR® 適合製品および基準は、米国の環境保護庁(EPA)および米エネルギー省が定める厳密な省エネルギーガイドラインに準拠しており、コストの節約と電力消費に伴う排熱量の削減に役立ちます。

製品を長時間使用しない場合、特に夜間や週末は、電源管理または電源を切ることで、電力消費量と環境への影響を削減することができます。

規格について

CE順守

本製品はテスト済みであり、欧州連合官報に掲載されている情報技術装置の調和規格に準拠していることが確認されています。



無線機能製品 (EMF)

本製品は無線送受信装置を内蔵しています。コンピュータは通常の使用状態で、20センチメートルの距離を置くことにより、無線周波数露出レベルがEU要件に適合することが確保されます。タブレットなどのより近距離で操作されるように設計された製品は、一般的な操作位置でEU要件に適合しています。個々の製品につき別段の説明がない限り、製品は間隔距離を置くことなく操作できます。

無線機能製品の制限(一部の製品のみ)



注意: 5.15~5.35 GHz周波数帯付きのIEEE 802.11xワイヤレスLANは、すべての欧州連合加盟国、EFTA(アイスランド、ノルウェー、リヒテンシュタイン)とほとんどの他のヨーロッパ諸国(スイス、トルコ、スルビア共和国など)では室内使用に限られています。WLANアプリケーションを屋外で使用すると、既存の無線サービスと干渉する恐れがあります。



無線周波数帯と最大電源レベル

- 機能: Wi-Fi 7, BT
- 周波数範囲:
 - 2.4 GHz: 2400~2485MHz
 - 5 GHz: 5150~5350MHz, 5470~5725MHz, 5725~5850MHz
 - 6 GHz: 5955~6415MHz
- 最大電源レベル:
 - 2.4 GHz: 20dBm
 - 5 GHz: 23dBm
 - 6 GHz: 23dBm

FCC-B無線周波数障害声明

本装置は、FCC 規則パート 15 に準ずるクラス B のデジタル機器の制限に準拠することが試験によって確認されています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成および使用しており、高周波エネルギーを放射する可能性もあるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源の投入と切断を行って確認します。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。



- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置を受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

注記 1

FCC 準拠に責任を持つ団体からの明示的な許可を受けることなく、本体に変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が取り消される場合があります。

注記 2

放出制限に従うために、シールドされたインターフェースケーブルと AC 電源コードを使用しなければなりません。

本機器は FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件により規制されます。

1. 電波障害を起こさないこと。
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受けるすべての電波障害に対して正常に動作すること。

WEEE (電気電子機器廃棄物)に関する声明

欧州連合: この製品に表示されているマークは、製品を一般家庭の廃棄物として処分できないことを示しています。代わりに、使用済みの電気・電子機器をリサイクルのために指定された回収場所へ引き渡す責任があります。リサイクルのための回収場所についての詳細は、お住まいの市役所・家庭ごみの処理サービス、または製品を購入した店舗にお問い合わせください。



化学物質に関する情報

EU REACH規則(欧州議会と欧州理事会規則EC No. 1907/2006)などの化学物質規制に準拠しています。MSIは、製品の化学物質に関する情報を <https://csr.msi.com/global/index> で提供しています。

日本JIS C 0950材料に関する宣言

JIS C 0950の規格で規定されている日本の規制要件は、製造業者が2006年7月1日以降に販売される電子製品の特定のカテゴリに重大な宣言を提供することを義務づけています。<https://csr.msi.com/tw/Japan-JIS-C-0950-Material-Declarations>

グリーン製品の機能

- 使用中およびスタンバイ中のエネルギー消費の低減
- 環境と健康に有害な物質の限定的使用
- 分解とリサイクルが容易
- リサイクルを奨励することで天然資源の使用を制限
- 容易なアップグレードを通して伸びた製品寿命
- 回収ポリシーを通して削減された固体廃棄物の生産

環境ポリシー

- 本機器は、部品の適切な使用およびリサイクルができるように設計されています。製品寿命時に勝手に廃棄しないでください。
- 寿命の切れた製品のリサイクルと廃棄については、地方自治体の担当部署にお問い合わせください。
- MSIのWebサイト <https://csr.msi.com/global/pevn_ewaste> にアクセスして、近くの販売店を検索してリサイクル情報を確認してください。



製品のアップグレードと保障

本製品の製品出荷時に組み込まれた部品のうち、特定の部品に関してはお客様のご要望による部品のアップグレードまたは交換が可能です。お問い合わせいただきました製品の詳細な部品構成につきましては、ご購入いただきました販売店様、または製品の正規代理店へお問い合わせください。但し、正規代理店又はサービスセンター以外で本製品の部品のアップグレードまたは交換を行われた場合、製品保証が無効になる場合がございますのでご注意ください。製品のアップグレードまたは交換サービスにつきましては、製品の正規代理店またはサービスセンターにお問い合わせください。

交換可能部品の販売について

特定の国または地域で本製品を購入された場合、弊社は本製品の交換用部品(またはそれに相当する部品)の供給を製品の生産終了後も最長で5年間継続致します。継続期間は仕向地の縫製や規制により異なります。スペアパーツの入手についての詳細な情報は<https://www.msi.com/support/>経由でお問い合わせください。

著作権および商標について



本書はMicro-Star Int'l Co., Ltd.の著作物であり、版權所有。MSIロゴはMicro-Star Int'l Co., Ltd.の登録商標です。記載されているすべての商標はそれぞれの所有者に帰属します。本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書に記載されている内容の正確性については一切保証いたしません。弊社製品は継続的に改善されています。弊社は、予告なく変更する権利を保有します。



HDMI™、HDMI™ High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMI™のトレードドレスおよびHDMI™のロゴは、HDMI™ Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

技術サポート

製品の問題が発生しユーザーズマニュアルにその解決法が見つからない場合、お買い上げの店または最寄りの代理店にご連絡ください。または、詳細については、<https://jp.msi.com/support/> を参照してください。

